

大会Report

第25回 日経STOCKリーグ 中・高・大学生のための金融・経済学習コンテスト 株式投資を通じて社会をまなぼう!

金融の学びで 未来を拓け!

日経STOCKリーグは経済や株式投資について学びながら、興味関心を基に投資テーマやポートフォリオを構築する、コンテスト形式の金融・経済教育プログラムだ。このほど、第25回大会の各賞が決定。最優秀賞をはじめ、入賞した全20チームが一堂に集う表彰式も開催された。



EXPERTNER ~"The Blueprint for Next-Generation Japanese Corporations"~ 東京大学 経済学部 首藤昭信ゼミ 3・4年



部門優秀賞 中学部門 月面経済圏 ~人類の可能性はどこまでも~ 軽井沢風越学園 9年



部門優秀賞 高校部門 日本人の微意識 松本秀峰中等教育学校 1年



部門優秀賞 大学・専門学校部門 The Principle of Families 東京大学 経済学部 首藤昭信ゼミ 3・4年

★敢闘賞

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校 3年「CH4CHALLENGE」/神奈川県立相模原中等教育学校 4年「傷跡に咲く花〜災害レジリエンスで被災地の未来を考える〜」/渋谷教育学園渋谷高等学校 2年「レアメタル・de・アツメタル」/神戸大学 経済学部 岩瀬健太郎ゼミ 3年「Shareholder Innovation ~企業を株主提案で変革する〜」/同志社大学 経済学部 新聞三希代ゼミ 3年「地方革新」

★アイデア賞

市立札幌開成中等教育学校 3年「睡眠を熟眠へ 経済成長と健康を」/愛媛県立松山南高等学校 1年「ジパング革命〜海底資源×都市鉱山〜」/開智日本橋学園高等学校 2年「昆虫の時代、来いっしょーの!」/立教大学 経済学部 石田惣平ゼミ 2年「BLACK BOX COMPANY」

★ルーキー賞

雙葉中学校 1年「ネバーランドへの約束 COMMITMENT TO NEVER LAND〜アニマルウェルフェア〜」/昭和专业秀英中学校 3年「まじらえるびー!!」/かえつ有明高等学校 2年「UCHIAGE JAPAN」

★審査委員特別賞

筑波大学附属駒場中学校 3年「未来のハートビート〜再生医療が世界を救う〜」/名古屋大学 経済学部 附属高等学校 2年「AgriLead」/一橋大学 商学部 石田惣平ゼミ 3年「The Pinochio Model ~Maximizing Shareholder Value Without Lies~」/法政大学 人間環境学部 長谷川直哉ゼミ 2・3年「魚客万来〜魚大園復活へのロードマップ〜」

★NOMURA Award(特別賞)

これまで日経STOCKリーグを通じて、金融・経済教育の普及にご尽力いただいた指導教諭・教員の方々に表彰します。

- 岡山県立倉敷商業高等学校 近藤 昌幸 指導教諭
宮崎県立都城工業高等学校 波賀 康成 教諭
高崎経済大学 阿部 圭司 教授
中央大学 奥山 英司 教授
早稲田大学 奥村 雅史 教授

着眼点と 学びの姿勢に頼もしさ

野村ホールディングス コンテンツ・カンパニー長 サステナビリティ 兼 金融経済教育管掌 鳥海 智絵氏



野村グループは次世代を担う若者の正しい投資理解を促す目的から、日経STOCKリーグの特別協賛を第1回大会から続けている。累計16万人以上が参加し、多くの人が大会での経験を生かして実社会で活躍している。昨今は探究授業の課題として活用いただくケースも増えてきた。教員の皆様にとっても、取り組みやすいプログラムとして発展させたい。ボランティア審査員として、当グループから多くのアナリストやエコノミストが審査に参加した。プロの目から見ても、着眼点が素晴らしく、実務では得られない気づきに富んだ内容だったと聞く。なにより、学生が社会課題に関心を持ち、楽しんで学んでいる姿勢に頼もしさを覚えた。より多くの人が自分自身のお金に向き合い、経済的な選択肢を持てる「ファイナンシャル・ウェルビーイング」を実現できるよう、引き続き金融経済教育の普及に努める。

参加数、8千人を超える 日本経済新聞社主催、中・高・大学生のための金融・経済学習コンテスト「日経STOCKリーグ」の第25回表彰式が2025年3月15日、都内会場とオンラインのハイブリッド形式で開催された。節目となる今年度の参加チーム数は2000を超え、8000人以上が参加。会場には入賞した学生と関係者が集まり、功績をたたえ合った。さらに、内閣府大臣政務官からも激励の言葉が送られた。審査委員長吉野直行氏は、「受験勉強には正解があるが、実際の経済活動では正解が無いことも多い。レポートを通じて実際のデータを



最優秀賞の東京大学によるプレゼンテーション(写真上) ニューヨーク研修旅行(下)



広い視野で、答えのない問いに挑戦

~日経STOCKリーグ表彰式開催~

扱い、企業へヒアリングした経験は、社会に出た後の実務で役立つはず」と本コンテストの意義をあらためて示した。また、吉野氏は諸外国での人工知能(AI)活用の進歩を例に「技術活用が進む中で、トップダウンだけではなくボトムアップの視点を重視している。学生には幅広い

視野を持つ人材になってほしい」とエールを送るとともに、レポートの切り口の更なる多様化にも期待を寄せた。 次世代企業像を提唱 最優秀賞に選ばれたのは東京大学3・4年生のチーム。受賞したレポートでは、次世代の日本企業像「EXPERTNER(エキスパートナー)」を提唱した。多角化経営企業では経営の非効率性が課題であり、一方の専門企業では社内シナジーが生まれにくいと指摘。強みのコア事業を持つ「Expert」と戦略的提携を行う「Partner」としての特性を併せ持つ企業なら、効率性とシナジー創出の両面を補完できると論じた。とくに、過去5年分の約1万6000件の記事等から対象企業のスクリーニングが、高次元での実証分析がなされていると高い評価を得た。同チームは結果を受けて「得意分野やバックグラウンドの異なるメンバーとのレポート作成は苦悩もあったが、互いに強みを発揮し、弱みを補完することで解決できた。まさにエキスパートナーを体現した」と振り返り、協力に応じた企業や関係者への謝辞を述べた。

特別協賛



主催:日本経済新聞社 後援:文部科学省、金融庁、日本証券業協会、日本取引所グループ、全国公民科・社会科教育研究会、一般財団法人 日本私学教育研究所、公益財団法人 全国商業高等学校協会、全国高等学校長協会

「日経STOCKリーグ」事務局

Tel:03-3545-9823

10:00~18:00 ※土日祝日を除く

受賞レポートなど詳細は、経済学習サイトman@bow(まなぼう)で公開中!

https://manabow.com/

まなぼう

